

郷土芸能祭出演リスト

第3回（さつまフェスタでの開催 於：薩摩総合運動公園グラウンド）

番号	郷土芸能名	出演団体	説明
1	仮屋原三尺棒踊り	佐志区 仮屋原伝統保存会	仮屋原の棒踊りは三尺（約90cm）の棒を用いて踊られます。16世紀、豊臣秀吉が九州平定に出向いて来ます。このことを聞いた住民は、秀吉が戦いを挑んできたと思い、迎え討とうとしましたが、戦いに来たのではないことを知ると、踊ってごまかしたといわれ、この時の踊りが現在まで伝わっているといわれています。
2	幣舞い	紫尾区 紫尾区郷土芸能保存会	昭和25年頃、当時の婦人層が、カナヤマ踊りと同じ反り刀を用い、錫杖で地面を清める仕草を幣でお祓いする形に創作し、女性だけの踊りとして伝承されたものです。平成11年10月に、町の無形民俗文化財に指定されました。
3	棒踊り	平川区	北原棒踊りは、明治40年頃、紫尾から伝えられたとされています。 踊りは、三尺棒と六尺棒の二手に別れ、4人1組で踊ります。
4	角郷三本矢旗踊	久富木区	角郷三本矢旗踊りは、島津義弘公と朝鮮に出陣した将兵の慰労と、次の出陣に備えて、郷土の士気を鼓舞するために、武士の踊りとして始まったといわれています。